

ホロライブ バレンタインボイス2025 ～秘密の告白～

森カリオペ

ちょっと！来るのが遅いよ！
いや、ごめん……でも、マジでヒヤヒヤしてたんだ。

だってチョコレート工場の中を見学できるなんて、一生に一度のことだよ！？
まさかコンビニで適当に買った板チョコにチケットが入ってたなんて思わなかったけど……
キミをここに連れてきたかったんだ。

なんでって……キミはこういうのが大好きなんでしょ？
……へ？ まさか私の勘違い！？じゃあキミって、別にチョコレート好きでも、
チョコレート工場マニアでもないの？ 私が勝手に思い込んでただけ？ 妄想？

まあ、思い込みが激しいことでおなじみのカリオペさんだから……
でも今行かなきゃ、あの工場の中なんて一生入れないよ。
ほら、急ごう！ 走ればギリギリ滑り込めるかも！

この工場、でかいねー！ どこを見ても、甘そうなものでいっぱい……
ほら見て！ チョコレートの川が流れてる！ こんな場所が存在するだなんて……
ここにあるもの、全部食べられるみたいだね。

でっかいマグカップを持ってきたから、これでホットチョコレートも飲めちゃうよ！
あっ、そうそう、それと……

これ！ キノコ！
大丈夫、これもお菓子だから。ひと口食べてみな。

でも、ここに咲いてるキャンディーでできたお花は私のだからね。
あっ、樹の皮と葉っぱもキミが食べていいよ。ちょっとベジタリアン向けすぎるから。

ただ、ここに生えてる草はちょっと食べてみたいかも。
子供の頃にやってみたかったなー、こういうの。

ん～！
これは……ただの草そのものだね。
萎えたわ……

え？ それは何？ 私にプレゼント？
そんな、別にいいのに。チケットのお礼なんていらないよ！
友達でしょ、気にしない気にしない。

ねえ、キャンディーの船でチョコレートの川下りなんてどう？
草の味が消えなくてさ……口直しになるかも。
あっ！ あそこにボートが！ 行ってみようか。

ああ～♪ チョコの流れのように～♪
ところで知ってる？ この工場には変な噂があるんだ。
人々からも忘れ去られた、とあるお菓子職人がこの工場のどこかに潜んでいるんだってさ……
怖くない？

え？ ああ、違う違う。
それは映画か何かのキャラでしょ。ここは本物のチョコレート工場。
今の怪談だって現実世界の話！

この工場ってさ、チョコレート作りの天才が経営してるでしょ。
昔、その天才のレシピや発明を盗もうとした男がいたんだ。もうそいつは亡くなったけど……
その魂は未だに工場をさまよっている。人知を超えたチョコレートの秘密を探し求めて……
いわく、工場のお菓子を食べすぎたら、そいつが現れるんだとか……

私がただの甘〜いバレンタインデートなんかに誘うわけないでしょ？
そんなベタベタな……ねえ？ 不気味なハロウィンならいつでも大歓迎なんだけどな。
だからここに連れてきたかったんだ……

ちょっと不気味で、それでいてバレンタインにピッタリな場所にね。
気に入ってもらえた？
死神とデッドビート、2人っきりでチョコレートの川下り。お菓子もいっぱい食べまくって……

なんか……気分が……なあ、このボート揺れ過ぎ……
気持ち悪くなってきた……

は？ なんて明かりが消えた……？
キミ、何か変なもの押した？ ボタンとか……
それとも、触っちゃいけないお菓子を取っちゃったとか……

まずい……あいつがいる。
あいつだ！ 工場長のレシピを求めて工場をさまよい続ける、お菓子職人の霊……！
ヤツの名前は……「アンノウン」！

どうしよう！？ こ、漕げガイコツ！ 漕ぐんだ！
チョコレートをまき散らしちゃってもいいから、
とにかくチョコのトンネルの先へ逃げるんだ！
逃げ道はそれしかない！

よし……もう少し……！
はっ！ ねえ聞こえる！？
あいつが来てる！
私達がレシピを隠してるかもしれないって……私達2人を引き裂くつもりだ！

おいアンノウンさん！ 見逃してくれ！
私達はチョコレート職人でも何でもない、ただの見学者なんだ！
そう、見学に来ただけ！
だからお願い……！ 許してください！！

おっと……
あらデッドビート、川に落ちちゃったの？
え？ 私が突き落とした？

あはは……ごめんね。
でもDeathセンセイのノートによれば、これがキミに定められた死因なんだ。
「チョコレートの川に落ちて溺死」……信じないって？
別にいいよ、それでも。

呪われた工場も、お菓子職人の霊も……全部ウソ！ 悪いね。
でも甘くて楽しかったよ……キミと行く最期の冒険。
それにチョコレートに溺れて死ぬなんて、悪くない最期じゃない？

甘美なる死の中で——おやすみ。

あっ、起きたなガイコツ。大丈夫？
キミ、激甘の板チョコをひと口かじったら倒れちゃって、今まで気絶してたんだよ。
まだチョコレートの川下りもやってないのに……あれをやらずに帰れないでしょ？

はぁ！？ 「もう帰る」って.....ふざけんな！
あのチケットを手に入れるのがどれだけ大変なことか.....！

なるほど、甘いものを食べすぎて気分が悪くなったっていうなら.....
仕方ない。わかった、じゃあ帰ろう！
でも帰る前に、キャンディーのお花をリュックいっぱい詰めさせてもらうから。
私が満足するまでね！

※一部またはすべての音声とテキストファイルの無断複写・無断複製・無断転載を固く禁じます
※タレントのアドリブにより、台本と実際の音声と異なる場合がありますこと予めご了承ください。
© 2016 COVER Corp. NOT FOR SALE